

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場会社名 ニッポン高度紙工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3891 URL <http://www.kodoshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎮西 正一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 溝渕 泰司 TEL 088-894-2321
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,719	4.3	499	36.0	563	23.4	395	76.6
26年3月期第2四半期	6,443	18.9	367	41.2	456	163.1	223	—

（注）包括利益 27年3月期第2四半期 422百万円（14.6%） 26年3月期第2四半期 368百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	36.72	—
26年3月期第2四半期	20.79	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	24,712	13,630	55.2
26年3月期	24,564	13,304	54.2

（参考）自己資本 27年3月期第2四半期 13,630百万円 26年3月期 13,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
27年3月期	—	9.00	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	9.00	18.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	5.3	700	92.1	660	26.9	450	86.8	41.83

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	10,953,582株	26年3月期	10,953,582株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	196,421株	26年3月期	196,361株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	10,757,214株	26年3月期2Q	10,757,301株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成26年12月2日に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州および中国など新興国では景気の減速傾向が見られる一方、米国では堅調な個人消費による安定的成長が継続するなど、国・地域間でばらつきはありますが、全体として緩やかな成長を維持いたしました。

わが国経済は、大企業を中心に設備投資意欲は強いものの、消費税増税後の消費回復の遅れや夏場の天候不順などの影響から、弱含みで推移いたしました。

当社グループの関連市場であるエレクトロニクス業界におきましては、国内では消費税増税の影響なども見られましたが、世界的にはカーエレクトロニクス関連、スマートフォン、タブレット端末、産業機器および白物家電などの需要が堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、当社セパレータ事業では、車載向けや産業機器向け、白物家電向けの受注が堅調であり、特に、省エネ型車両などに使用される電気二重層キャパシタおよびリチウムイオン電池セパレータは好調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、6,719百万円（前年同四半期比275百万円、4.3%増）の実績となりました。

利益面につきましては、円安等により原材料等コストは増加しましたが、セパレータ事業の増収の効果に加え、減価償却費負担の軽減もあり、営業利益は499百万円（前年同四半期比132百万円、36.0%増）、経常利益は為替差益75百万円の計上があり、563百万円（前年同四半期比106百万円、23.4%増）、四半期純利益につきましては、395百万円（前年同四半期比171百万円、76.6%増）の実績となりました。

当第2四半期連結累計期間の主要事業の状況につきましては、次のとおりであります。

[セパレータ事業]

セパレータ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は6,708百万円（前年同四半期比547百万円、8.9%増）、営業利益は659百万円（前年同四半期比190百万円、40.6%増）の実績となりました。

・コンデンサ用セパレータ

車載などの低圧品向けならびに産業機器および白物家電用インバータなどの中高圧品向けが堅調に推移した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,386百万円（前年同四半期比344百万円、6.8%増）の実績となりました。

・電池用セパレータ

省エネ型車両などに使用される電気二重層キャパシタ向けおよび省エネ型車両や定置蓄電用などに使用される大型リチウムイオン電池向けの受注が好調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,322百万円（前年同四半期比203百万円、18.1%増）の実績となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産の減価償却実施等がありましたが、売上債権の増加、有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末に比べ147百万円増加し、24,712百万円となりました。

負債につきましては、短期借入れおよび長期借入れの実施等がありましたが、長期借入金の約定返済等により、前連結会計年度末に比べ178百万円減少し、11,081百万円となりました。

また、純資産は、前期決算に係る利益配当等があるものの、四半期純利益395百万円を計上したことによる利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ325百万円増加し、13,630百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日「平成26年3月期 決算短信」において公表いたしました連結業績予想を修正しておりません。なお、今後様々な要因によって連結業績予想を修正する必要がある場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

これによる当第2四半期連結財務諸表に与える影響はありません。また、セグメント情報に与える影響もありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,498,443	1,196,299
受取手形及び売掛金	3,487,394	3,823,911
商品及び製品	1,527,147	1,559,731
仕掛品	6,320	1,780
原材料及び貯蔵品	2,463,098	2,625,191
繰延税金資産	148,200	166,339
その他	113,450	298,957
貸倒引当金	△6,958	△7,428
流動資産合計	9,237,097	9,664,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,880,660	3,822,322
機械装置及び運搬具(純額)	6,899,233	6,682,099
土地	2,161,745	2,113,973
建設仮勘定	554,375	604,253
その他(純額)	319,439	302,497
有形固定資産合計	13,815,453	13,525,147
無形固定資産	30,471	28,883
投資その他の資産		
投資有価証券	419,726	441,454
繰延税金資産	668,308	664,604
その他	414,489	408,181
貸倒引当金	△21,000	△21,000
投資その他の資産合計	1,481,524	1,493,240
固定資産合計	15,327,448	15,047,270
資産合計	24,564,545	24,712,053

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	685,145	667,449
短期借入金	1,622,424	2,181,943
1年内返済予定の長期借入金	1,908,480	1,919,980
未払金	806,368	830,799
未払法人税等	112,921	210,901
設備関係支払手形	1,789	—
設備関係未払金	303,763	279,227
その他	612,541	510,479
流動負債合計	6,053,434	6,600,782
固定負債		
長期借入金	3,920,066	3,215,076
繰延税金負債	22,983	17,147
役員退職慰労引当金	239,100	244,385
退職給付に係る負債	1,024,353	1,004,249
固定負債合計	5,206,502	4,480,858
負債合計	11,259,937	11,081,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,241,749	2,241,749
資本剰余金	3,942,363	3,942,363
利益剰余金	7,491,721	7,789,948
自己株式	△165,363	△165,447
株主資本合計	13,510,471	13,808,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,274	47,681
為替換算調整勘定	44,279	33,951
退職給付に係る調整累計額	△278,416	△259,834
その他の包括利益累計額合計	△205,863	△178,201
純資産合計	13,304,608	13,630,413
負債純資産合計	24,564,545	24,712,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	6,443,867	6,719,841
売上原価	5,229,359	5,343,727
売上総利益	1,214,507	1,376,113
販売費及び一般管理費	846,893	876,216
営業利益	367,614	499,897
営業外収益		
受取利息	2,005	1,788
受取配当金	3,428	3,462
為替差益	64,229	75,827
助成金収入	40,692	517
還付加算金	2,878	—
その他	4,223	3,247
営業外収益合計	117,459	84,843
営業外費用		
支払利息	20,759	16,570
その他	7,898	4,889
営業外費用合計	28,658	21,459
経常利益	456,415	563,281
特別利益		
固定資産売却益	870	—
受取補償金	—	15,476
投資有価証券売却益	1,065	—
特別利益合計	1,935	15,476
特別損失		
災害による損失	—	14,918
投資有価証券評価損	99,897	—
特別損失合計	99,897	14,918
税金等調整前四半期純利益	358,454	563,838
法人税、住民税及び事業税	77,890	201,117
法人税等調整額	56,885	△32,320
法人税等合計	134,776	168,797
少数株主損益調整前四半期純利益	223,678	395,041
四半期純利益	223,678	395,041

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	223,678	395,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,998	19,407
為替換算調整勘定	60,116	△10,327
退職給付に係る調整額	—	18,582
その他の包括利益合計	145,115	27,661
四半期包括利益	368,793	422,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368,793	422,703
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	セパレータ事業		
売上高			
外部顧客への売上高	6,160,908	282,959	6,443,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,160,908	282,959	6,443,867
セグメント利益又はセグメント損失(△)	468,877	△40,859	428,017

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、超薄型フレキシブル基板の販売、無機/有機ナノハイブリッド膜の製造等をおこなっております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	468,877
「その他」の区分の損失(△)	△40,859
全社費用(注)	△60,403
四半期連結損益計算書の営業利益	367,614

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	セパレータ事業		
売上高			
外部顧客への売上高	6,708,590	11,250	6,719,841
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,708,590	11,250	6,719,841
セグメント利益又はセグメント損失(△)	659,416	△80,940	578,475

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソクシール(耐熱性接着剤、カバーレイインク)、無機/有機ナノハイブリッド膜の製造等をおこなっております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	659,416
「その他」の区分の損失(△)	△80,940
全社費用(注)	△78,578
四半期連結損益計算書の営業利益	499,897

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。